

醍醐寺は平安時代より桜の名所として知られており、今日も先人から受け継がれ守られてきた桜が人々の心を和ませています。

特に、太閤・豊臣秀吉が催した慶長3年（1598）の「醍醐の花見」の盛大さは広く世に伝わり、今も語り継がれています。当時の醍醐寺座主・義演が記した『義演准后日記』（重文）からは、秀吉が境内に700本もの桜の植樹を指示したことや、金剛輪院（現在の三宝院）の再興の一つとして、自ら庭園の設計に携わったことが分かり、秀吉の力の入れようをうかがい知ることができます。

この「醍醐の花見」から400年を契機に、日本画家の浜田泰介画伯による三宝院の障壁画の制作が行われ、平成11年（1999）には、145面に及ぶご奉納をいただきました。それ以来20年以上、浜田画伯の描いた華麗な世界は多くの人々に感動を与えてまいりました。この偉業を讃え、本展では三宝院の障壁画をはじめとする浜田画伯の作品の数々をご紹介します。

守り伝えられてきた醍醐の桜とともに、浜田画伯の世界をご堪能ください。



浜田泰介筆「宝珠と桜」



如意輪観音坐像（重文）



豊臣秀吉像



富士浅間権現立像



三熊露香筆「倭花名品」

#### ◦・拝観時間◦・

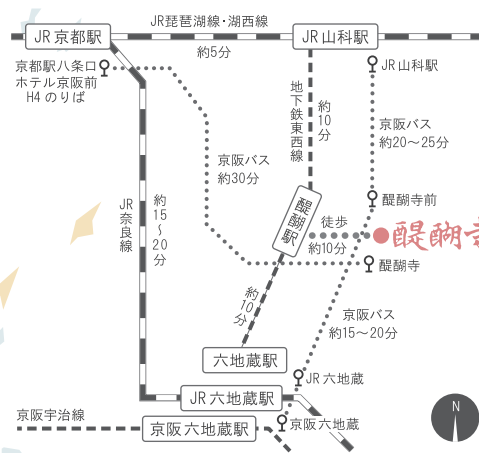
午前9時～午後5時  
※拝観券発券は閉門1時間前まで（入場は閉門30分前まで）  
※休館日なし。ただし、行事等の都合により変更の可能性あり。

#### ◦・拝観料◦・（三宝院・伽藍の拝観含む）

大人1,500（1,300）円、中高生1,000（800）円  
※（ ）内は20名以上の団体料金 ※小学生以下無料

#### ◦・交通案内◦・

・市営地下鉄東西線「醍醐駅」下車 ②番出口より徒歩約10分  
・京阪バス22・22A系統「醍醐寺前」、301系統「醍醐寺」下車すぐ



總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22  
Tel. 075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>